

第55回勉強会

21世紀の医療のかたち

鹿島病院 鹿島の里
リハビリテーション科
作業療法士 百田貴洋さん

平成14年5月10日(金)午後7時より
神栖町保健・福社会館 2階 研修室にて

医療制度改革がすすめられる中で特徴的なのがサラリーマンの3割負担、診療報酬の引き下げ、保険料の引き上げです。

それだけでなく改革のしわ寄せは入院患者にまで及んでいます。

6ヶ月以上の入院患者の入院料の一部が保険外になることが予定されており、特に介護保険施設の定員がいっぱいの神栖町では入院を続けることが困難になった高齢の患者が地域に帰って来ることが予想されます。

はたして私たちの住む地域では帰ってきた入院患者を支える準備はできているのでしょうか？
またどんな受入態勢やしきみをつくっていけばよいのでしょうか？



一般病棟における医療費減額のしくみ

入院14日以内	30日以内	90日以内	90日超
1日につき 16,430円	1日につき 14,080円	1日につき12,210円	- 11,240円
入院基本料			
1日につき 8,129円	1日につき 8,129円	1日につき8,129円	1日につき9,370円
投薬・検査・注射・処置・リハビリ・手術等の費用			入院基本料等
			1日につき3,949円

第54回勉強会

知的障害者の地域生活について

参加者52名

鹿島育成園児童寮 高橋英一施設長



知的障害者が自立した生活を送るためにグループホーム等の住居や差別を受けないで働ける就業先の必要性。それを可能にする専門相談機関の重要性など、知的障害者を取り巻く本来的な環境のあり方について具体的なケースをもとにお話を聞きました。

これから知的障害者が地域の中にとけこんで生活していけるようになるには、その生活の基盤となるグループホームが地域の中につくられていくこと、そして知的障害者を支えるファシリテーターとして活動する支援者の役割が大事であるというお話を聞きました。

注
目

今回から勉強会は第2金曜日の開催です。ご注意ください。
第51回の勉強会から勉強会の様子をビデオ撮影しています。
ボランティアセンターにて貸出していますのでご利用ください。